

鹿児島・離島奄美のこども食堂 企業協働フォーラム2026

～海の方こうの子どもたちへ届ける、新しいCSR・地方創生の形～

2026年 11月 9日 月

千駄ヶ谷SCC サークルホール

東京都渋谷区神宮前1丁目1-10

要事前予約

入場無料

オンラインあり

【第1部 13:00-15:00】 第2部 15:00-16:00】

対象：島のこども食堂の活動支援に興味をもつ企業・団体様
鹿児島のこども食堂支援に関わりがある企業・団体様



プログラム

【第1部】 13:00～15:00

与論島

- ① オープニング
- ② はじめに「離島奄美のこども食堂のリアルと壁」
- ③ クロストーク「企業と離島がつながるメリット・協働事例」
離島支援の実績がある企業からの事例提示
- ④ 「離島奄美からのSNS&企業への協働オファー」
現場からの具体的なニーズ・困りごと
- ⑤ 質疑応答・アンケート・名刺交換

オンライン
参加できます！

【第2部】 15:00～16:00

懇親会

離島特産品をつまみながらカジュアルにお話しいただける情報交換のお時間です

奄美のこども食堂がつくる、島のあたらしい風景

いま全国に広がる「こども食堂」、老若男女だれでも参加できる「地域食堂」は、奄美の島々でも開催が進んでいます。その広がりには奄美大島、徳之島、沖永良部島でネットワークが組織されるほどで、島々の中で支え合う仕組みが少しずつ形になり始めています。

そう伝えると「シマは人のつながりが強いのに必要？」とよく聞かれます。ですが、“お互いのプライバシーには立ち入らない”という現代の流れは島でも同じで、高齢化・少子化が進む中、かつてのような自然なつながりは薄れつつあります。そんな今だからこそ、こども食堂の取り組みは大きな光です。「こども食堂のおかげで八月踊りの継承につながりそう」「月一度の寄り合いができて安心できる」といった声が届き、食堂が新しい“島の寄り合い場”として機能し始めています。そこには、子どももお年寄りも、そして地域の人、無理なく関われる温かい時間があります。島の宝である子どもやお年寄りを、食を通じて地域で見守るこの活動を、島を思う人々に広く伝え、支えてくださる仲間を増やしていきたいと願っています。

申込み ①FAX: 099-821-6345
②Mail: k-salon@takushite-kagoshima.com ③QRコード: ↓

事前申込み

QRコードからも
お申込み可



- 参加方法 ○をつけてください 会場参加 ・ オンライン参加
- 企業・団体・所属
- ご担当者様 ほか（ ）名
- 所在地
- 電話番号
- メールアドレス ※オンライン参加の方にはzoomの招待URLをお送りします
- こども食堂支援について 具体的に考えている ・ 興味がある ・ 何が出来ると知りたい ○をつけてください
- その他

※事前に確認したいことがありましたら、お知らせください

主催：鹿児島県

協力：奄美大島こども食堂・地域食堂ネットワーク
とくのしまこども食堂ネットワーク
沖永良部子ども食堂ネットワーク
かごしまこども食堂・地域食堂ネットワーク

共催：認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ

委託：特定非営利活動法人かごしまこども食堂支援センターたくして

問合せ先 099-296-8210 k-salon@takushite-kagoshima.com